

共用試験実施時期の検討に向けた獣医系 大学カリキュラム年次進行調査まとめ

平成23年11月25日
共用試験準備委員会

調査方法

- 国公立獣医系大学へのカリキュラム進行表の提出を依頼し、15大学より回答あり(2011年9月～10月調査)。
- 2011年10月時点で最新のカリキュラムを提出依頼した。
- 共同教育課程設置予定大学は設置後のカリキュラムを提出し、1大学として集計(合計11大学)。
- 5年次以降開講される科目を、導入、基礎、応用、臨床の4科目に分類して洗い出した。

5年次以降開設科目のまとめ(時期別開講大学数)

※実施大学数(共同教育課程は1大学として全体11大学)

	科目名(一般名使用)	5年前期	5年後期	6年前期	6年後期	集中講義
導入科目	獣医法規関連科目	2	1	3	1	1
	倫理, 福祉関連科目	3	1	1		1
基礎科目	薬物動態代謝学		1			
応用科目	疫学	2				
	家禽疾病学・魚病学	1		1		1
	毒性学関連	2				1
	感染症関連	5	1			2
	食品・環境等	2	1			
	実習科目	6	2	1	1	
臨床科目	講義系	10	5			
	臨床薬理・病理学	4	1			
	野生動物関連	2	2			
	実習科目	8				
参加型臨床実習	※開始期	5	6			

5年次以降開設科目のまとめ

[導入科目について](#)

- 多くの大学で倫理及び法規関連科目は5年時以降に実施されている。

[基礎科目について](#)

- ほとんどの大学で4年次までに終了している。

[応用系科目について](#)

- 多くの大学で5年前期に開講している科目が散見される。
- 一部の大学で5年後期での開講が見られる。
- 複数の大学で, 家禽疾病, 魚病学, 感染症などの共用試験科目が5年以降で開講される。

[臨床系科目について](#)

- 各論の多くが5年前期での開講科目となっている。
- 一部の大学では, 5年後期以降の開設科目もある。
- 一部の大学で, 総論と思われる科目が5年前期に開講される(総合臨床 I など)。

[参加型臨床実習](#)

- 5年前期開始と後期開始がほぼ半々となっている

結論

- 共用試験の実施時期を4年後期終了時(冬)および5年前期終了時(夏)の年2回で実施することにより、大幅なカリキュラム変更を行わなくとも、共用試験に対応した授業の実施が可能である。
- ただし、臨床系各論科目の総論部分に関しては、カリキュラムの一部変更または出題範囲の事前実施(集中講義など)が必要になると思われる。